

# 経済学史 (2019年度前期)

## 第2回: 経済学のあけぼの

担当者: 佐々木 啓明\*

---

\*E-mail: [sasaki@econ.kyoto-u.ac.jp](mailto:sasaki@econ.kyoto-u.ac.jp); URL: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~sasaki/>

## ——重商主義——

- 国富と貿易差額

重商主義: 16世紀から18世紀, ヨーロッパで主流であった諸学説の総称.  
→ 金こそが富であり, 貿易黒字が多いほど, 外国から金が流入するので, 国富が増大する.

- 正価流出入機構

ヒュームによれば, 上のような考え方は間違い.  
→ 貨幣数量説を利用して説明.

$$MV = PT \quad (1)$$

$P$ は $M$ に比例する.

自国: 金流入 → 貨幣量増大 → 物価上昇

外国: 金流出 → 貨幣量減少 → 物価下落

→ 自国生産物は外国生産物より高価になり, 外国の自国生産物に対する需要(つまり自国の輸出)が減少する. 外国では反対のことが生じ, 外国の輸出(つまり自国の輸入)が増大する.

その結果, 貿易収支は赤字化, 金が流出する.

- 原始的蓄積

自給自足経済から市場経済への移行, 農業から工業への労働移動の促進  
→ スチュアートは経済政策の必要性を強調

## ——重農主義——

### ● フランソワ・ケネー

重商主義を批判し, 自由放任主義(レッセ・フェール)を主張する.

代表的著作は『経済表』(1758)

地主, 生産階級, 不生産階級の間の経済循環を描写.

経済表は2種類あり, 1758年の「原表」とそれを簡略化した1766年の「範式」.

## ——経済表——

### ●経済表範式

農業が最高度に発達し、商業上の競争が完全で、かつ農業の経営資本の私的所有が保障されている理想的な経済状態を想定する。

### [図の説明]

### ●地代と利潤

土地のみが生産的であり、資本は生産的ではない。経済表には利潤が存在しない。

→ 資本の限界生産力がゼロであるという説明も可。